

【節電とCO₂削減に取り組む社会福祉法人】

大阪府茨木市の社会福祉法人 慶徳会（軽費老人ホーム）は、創立80周年の節目にあたって省エネおよびCO₂削減を目的に青色発光ダイオードLED直管形蛍光灯を採用しました。茨木市の社会福祉法人としては第1号です。約40パーセントの電力消費量削減とこれに比例するCO₂排出量の抑制を目指すものです。

同社会福祉法人は、昭和6年（1931年）に「農繁期託児所」として福祉の灯を点してから昨年が80周年でした。太平洋戦争の前後には授産場、母子寮、子供の家（児童養護施設）を開設、昭和29年に当時の養老院を開設して以降福祉各分野の事業を拡充してきました。また、第2代理事長は12年に及ぶ茨木市教育委員長として及び浄土真宗本願寺社会福祉推進協議会副会長として、教育並びに社会福祉活動を行ってきました。

今日では、80年間を通して培われた「心の介護」を追及しながら14施設において児童、ご老人、障がい者の皆様にサービスを提供しています。

同法人の理念は、「お互いに生かされていることを喜び感謝するとともに時代に即応した福祉を希求する」ことです。



（右より、西田理事長 大和常務理事）



（森施設長）

（平成23年12月27日LED蛍光灯取り付け全工事完了）